

JR大村線久原駅は安くつくりたい

永石議員

(1) 企画行政について

① JR大村線久原駅の設置について、大村高校の研修会館である五教室の前の踏切から小姓小路の直線に計画があったが、用地買収費と工事費の合計で2億5千万円から3億円かかり、財政的に厳しいとのことであった。しかし、大村高校正門から岩松駅方面にかけて、目測で80〜100mの直線地があると思われる。車輛1輛が21・3mであるので、4輛編成で85・2mである。乗降口は車輛の端にはないので4輛編

(2) 都市整備行政について

都市計画道路大村駅前〜原口線は大村駅前と竹松地区を結ぶ重要な道路である。今後の見直しはどうなっているのか。

成でもどうか停められ。スペースがなければ前後のドアを操作し、乗降客に混乱がないように周知徹底できれば可能である。これが実現できれば安くできると思うがどうか。

② 新幹線大村駅（植松）に在来線の植松駅を設置していただきたい。植松駅は新幹線の乗換駅として必要と考えるがどうか。

に判断して、小姓小路踏切の北側への設置が決定された経緯がある。ご指摘の場所については、JRに確認したところ、直線部分が約30mしかないということである。

市長 (1) ①場所の問題については、車輛の長さの問題も含め再度精査をしたと思うが、財政的な問

題が大きい。周辺整備まで入れると概算で2億5千万円から3億円の事業費になると試算している。財政健全化に取り組んでいるところであるので、財政の回復を待って取り組む課題である。

副市長 (1) ②現在行っているアンケート調査の結果や地区別ミーティングなどでいただく市民からのご意見、議員の皆さんのご意見を聞いた上で総合的に判断させていただきたいと思っている。

市長 (2) 今回の都市計画道路の見直し案の中で、大村駅前周辺地域と竹松駅前周辺地域を連結する幹線道路として計画を存続することにしている。新幹線新駅計画との関連もある。10年以内には着手するように取り組みたいと考えている。今後は新幹線新駅周辺整備の基本構想や基本計画を策定する中で整備規模や整備時期を検討していきたい。

(その他の質問事項)

・公共施設の手洗自動水洗面を
・人材育成について

長崎県立図書館の新設・移転をぜひ大村市へ久原駅の実現をめざして

永尾議員

(1) 企画行政について

① 県立図書館の誘致について

県立図書館は、県内の中核的な図書館としての役割を担っており、特に離島を多く有する本県にあっては、県の中央に位置し、交通アクセスに優れている大村へ立地されることにより、県内各地からの利便性が増す。また、本市に立地している県の研究機関等との相乗効果により、その利用は

(2) 久原駅の設置について

久原駅の予定地周辺には、市役所、大村高校、城南高校、教育センター、大村公園、競艇場、長崎医療センターがあり、多くの人が行き交っている。また、最近では活水大学看護学部が開学し、ますます久原駅設置の必要性が高まり、実現が叫ばれている。現在の進捗状況について尋ねる。

市長 (1) ①県立図書館の誘致については平成17年度から取り組んでいるが、特に19年度からは重点項目としている。県立図書館のあり方懇話会においても、その役割、機能を展開するには現在地では困難であり、移転するべきである旨の答申がされておおり、本市への移転を強くお願いしているところである。誘致に際しては、土地を提供しないと

さらに広がると考えている。誘致の状況について尋ねる。

実現は不可能であると予測されるが、交通アクセスや中心市街地発展の観点から市民会館周辺の警察署跡地を想定している。県民の教育・文化の発展はもとより、市政の発展を図る上で、実現できるような積極的取り組みしていく。知事、県教育長の決断も近いのではないかと期待している。

・病児保育について
・もったいない大抽選会について

市長 (1) ②久原駅の設置については、駅前広場を含



小姓小路踏切